



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和3年9月3日(金)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

— 高く晴れ渡る9月の空に —

9月1日の空を見ましたか。細かい雲が遠くに広がり、空はとても高く見えます。皿倉山もいつもより高くそびえて見えます。季節はたしかに、確実に秋へと変わりつつあります。さて、石川啄木(いしかわ・たくぼく)の短歌にこういうのがあります。



不来方のお城の草に寝ころびて 空に吸はれし 十五の心

この歌の現代語訳は・・・「不来方城の城跡の草に寝転んで、空を眺めていると、心が空に吸い込まれそうに思った15歳のころよ。」となります。石川啄木という人は学校が嫌いでした。いつも空ばかり見ていました。不来方(こずかた)城の城跡の草むらにごろんと寝転がって、広い空をぼーっと見ている。なんとなく、すべてが空に吸い込まれそうな気持ちになりました。十五歳の頃の事です。それがこの短歌です。皆さんの年齢はいろいろなことに迷う年齢です。悪いとわかっているのに。気持ちをうまく表せない。何かに腹が立つ。自分がつまらなく思える。何をしたいかわからない。そんな気持ちになったことはありませんか。啄木はその気持ちを、「空に吸はれし十五の心」と歌ったのです。

皆さんは今の気持ちをどう表現できるのでしょうか。一つのことに夢中になるのか、とにかく必死にやってみるのか、自分をごまかすのか、現実から逃げるのか、人に合わせて自分を見失うのか、すべてを他人のせいにするのか・・・。(これから先の文章は特に3年生に訴える内容です)しかし、尾倉中の生徒は、迷いながらも現実と立ち向かい、迷いながらもそれらを克服し、乗り越えていけると先生は信じています。もちろん、一人では無理かもしれません。先生や友達、保護者の方などの支えは必要です。しかし、最も大切なもの—それは『自分自身』と『突き進んでいく勇気』なのかもしれません。

— 授業で大切にしたいこと —

2学期が始まりました。課題テストも終わり、いよいよ学習に力を入れる2学期となります。普段の授業をもう一度見つめ直そうとしたときに、何が大切なのか・・・5つのポイントを挙げてみます。尾倉中学校授業五則(ごそく・5つの決まり)と言ってもいいでしょう。(ほとんどの人はできていま

すね)まず、授業に臨む姿勢を大切にし、そして一時間一時間を大切にしていきたいと思います。

～授業こそ 学校生活～

1. 時間を守る
～ チャイムで授業開始。授業の準備を整え、服装を正し、開始に備える! ～
2. 礼に始まり、礼に終わる
～ 教えていただく先生に感謝の気持ちを心を込めてさわやかに挨拶しよう! ～
3. 場を整える
～ ごみのない教室、美しい黒板、まっすぐな列! ～
4. 正しい姿勢を保つ
～ 肘をつかない、背を伸ばす、机の外に足を出さない! ～
5. 授業は目で聞く
～ 心を開いて集中し、話している人にしっかり目を向けて! ～

学校生活の中心は授業です。みなさんがもっと授業に集中でき、力をつけていくためにこの5つのことは最低限のことです。尾倉中学校生徒全員が守る「授業の基本」です。いつも、頭に描きながら、授業に取り組む自分の姿を振り返りましょう。例えば、3年生、体験入学や入試の日だけ、きちんとしようとしてもだめです。日頃の生活や姿がつい顔をのぞかせます。要は、日頃から普通に頑張っていれば大丈夫だということです。日々の積み重ねこそ成功への近道です!!

ちょっといい話(みんなで読んでみよう)

バスの中で 年齢:40代以上 性別:男性 職業:教職員 住所:広島市